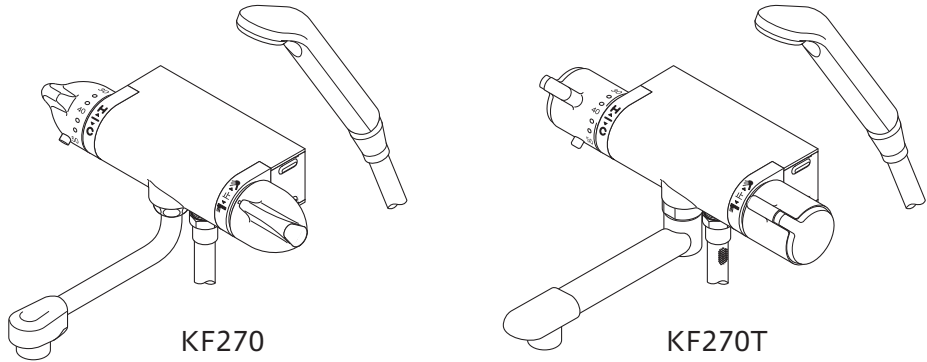


■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。



安全上のご注意

- ここに示した **注意** は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはけない「禁止」の内容です。	この絵表示は、「接触禁止」の内容です。	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
-------------------------	---------------------	-----------------------------

注意

<p>器具に乗ったり、よいかかたりして無理な力を加えないでください。</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。（寒冷地仕様の場合）</p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いのときには吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>
--	---	---	---

シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。

高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

お使いになる前に、カラン側かシャワー側かを吐水切換ハンドルで確認してから湯をお使いください。

カランとシャワーを間違えると、やけどをするおそれがあります。

温度調節ハンドルの表示で湯温を確認した後、吐水してください。

高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ハンドルはゆっくり回してください。

やけどをするおそれがあります。

必ず温度調節ハンドルの目盛を40以下に戻しておいてください。

次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。

高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してください。

次に使用すると、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

吐水切換ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。

漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

凍結が予想される際は、配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。（寒冷地仕様の場合）

凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ヘッドをホースに取り付ける際は斜めに取り付けず、まっすぐ取り付けてください。

ヘッドのねじ部は樹脂製のため、ねじがぶれ、ホースに取り付けできなくなる場合があります。

やけど、漏水をした場合の処置

やけど やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門家の医師の診察を受けてください。

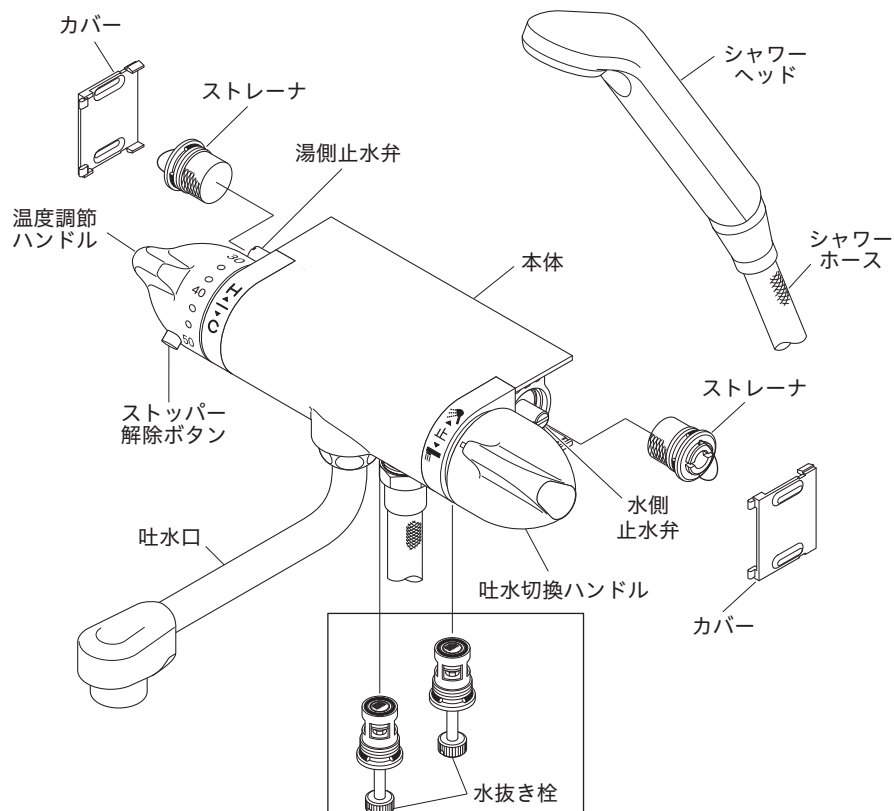
漏水 漏水した場合は元栓、または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

ご使用前に

給湯機の使用上のご注意

- 給湯機の給湯温度は、器具から吐水する温度より10℃以上高くしてください。安全に長くお使い頂く為に約60℃を推奨します。
- 吐水切換ハンドルは、できるだけ全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。（瞬間型の場合）
- 吐水切換ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。（それでも給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は、吐水切換ハンドルで調節を行ってください。）
- 給水圧力が低い時や水温が高い時は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は給湯機の設定温度を少し上げてお試してください。（瞬間型の場合）

名称



イラストはKF270

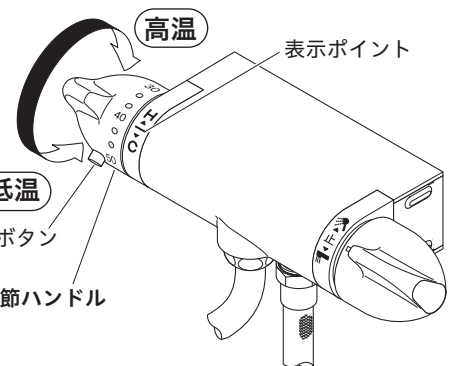
寒冷地仕様

使用方法

温度調節

温度調節ハンドルを下へ回すと、低温、上へ回すと、高温の湯水になります。ハンドルの目盛「40」を目安にして、表示ポイントに合わせます。高温に回しますと、目盛「40」を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。（温度：42～45℃）それ以上の高温を出す時は、ロック解除ボタンを押しながら回してください。使用後は目盛「40」以下に戻してください。

【**注意**】目盛は温度表示ではありません。目盛は温度調節の目安としてください。



イラストはKF270

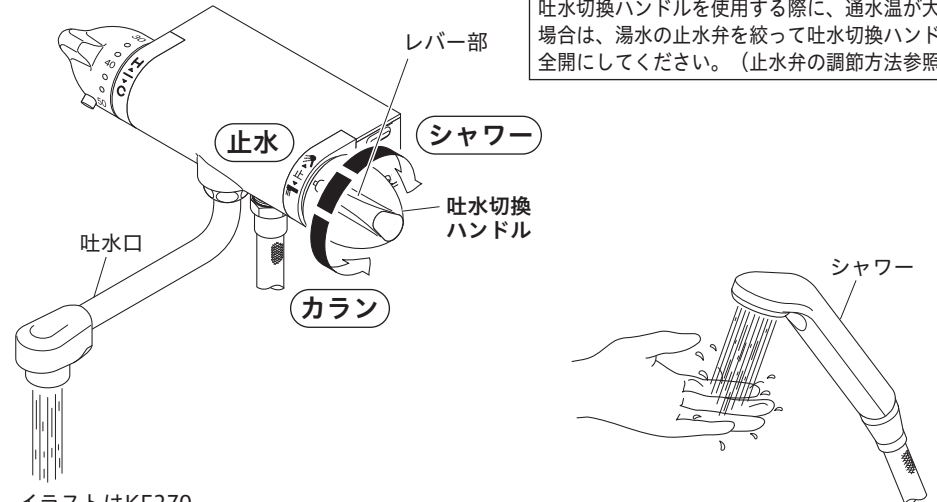
吐水切換

吐水切換ハンドルを下へ回すと、カランから湯水が出ます。上へ回すと、シャワーから湯水が出ます。吐水切換ハンドルの表示ポイントを「止」に合わせると止水します。

- 【**注意**】
- ・吐水切換ハンドルはゆっくり操作してください。急な操作はウォーターハンマー（衝撃音）が発生することがあります。
 - ・シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
 - ・シャワー使用中は湯温、湯量の調節はしないでください。操作を誤ってやけどをするおそれがあります。

【通水音に関するご注意】

吐水切換ハンドルを使用する際に、通水音が大きい場合は、湯水の止水弁を絞って吐水切換ハンドルを全開にしてください。（止水弁の調節方法参照）



イラストはKF270

日常の保守・点検・お手入れ

ストレーナの清掃方法

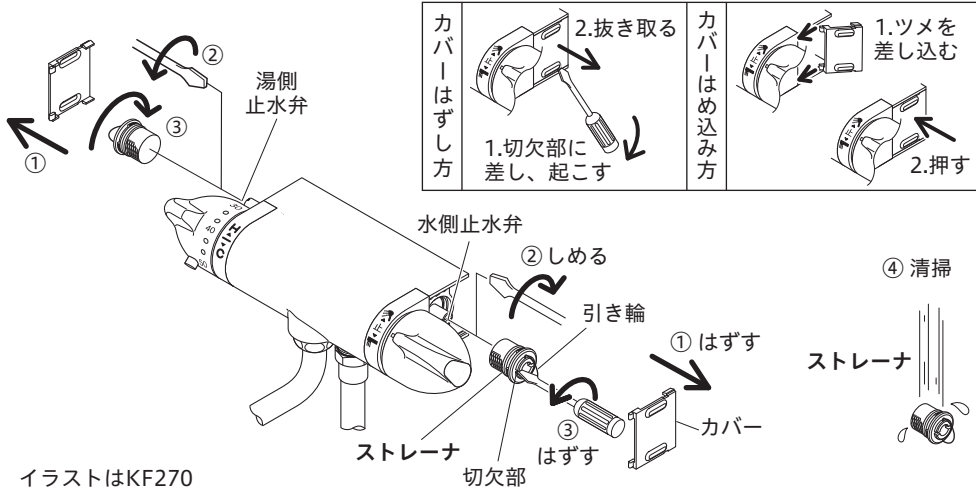
本体のストレーナ

本体のストレーナにゴミがたまりますと、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合がありますので、定期的に清掃してください。

- ① カバー [2カ所] をはずします。切欠部に⊖ドライバーを差し込み、起こしてはずします。
- ② 湯水の止水弁 [2カ所] をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ③ 湯側・水側のストレーナ [2個] を取はずします。
(ストレーナの切欠部に⊖ドライバーなどを差し込み、矢印の方向に回し、ゆるめてから引き輪を起し取りはずします。)
- ④ ゴミ・水アカ等を洗い流します。

清掃後は上記の逆の手順で組み込んでください。

- ・ストレーナを締め込む時、吐水切換ハンドルを「吐水口」側にしてください。
- ・カバーをはめる時はツメをカラーに差し込み、カチッと音がするまで押してください。

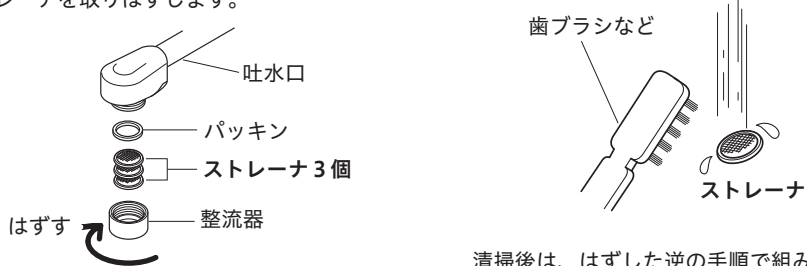


イラストはKF270

吐水口のストレーナ

吐水口のストレーナがたまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

- ① 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。
- ② ストレーナをブラシで水洗いします。



イラストはKF270

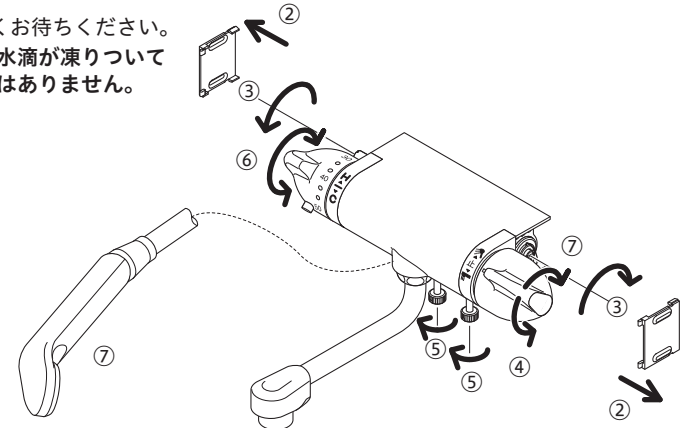
水抜き方法 (寒冷地仕様の場合)

凍結が予想される際は、下記のように水栓金具の水抜きを行ってください。

水栓のみの水抜き	配管からの水抜き (配管に水抜き栓がある場合)	操作
	①	配管の水抜き栓を操作します。(給水源の水抜き栓の操作)
②	②	カバーをはずします。(はずし方はストレーナの清掃方法参照)
③		湯水の止水栓の止水弁(2カ所)を締めます。
④	④	吐水切換ハンドルをカラン側にします。
⑤	⑤	水抜き栓を開けて水を抜きます。
⑥	⑥	温度調節ハンドルをCに回して水を抜き、Hに回して水を抜きます。
⑦	⑦	シャワーヘッドを床におろし、吐水切換ハンドルをシャワー側に水を抜きます。

再通水の時に水が出ない場合

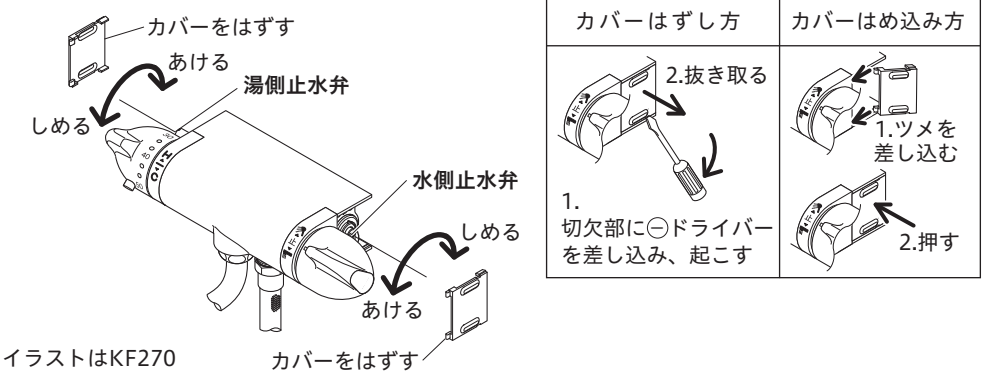
- 吐水状態でそのまましばらくお待ちください。
- 【注意】これは水栓内に残った水滴が凍りついて起こる現象で、異常ではありません。



イラストはKF270

止水弁の調節方法

流量調節は下記の方法で行ってください。



イラストはKF270

お手入れのしかた

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてからかわいた布でふき取ります。



使ってはいけないもの



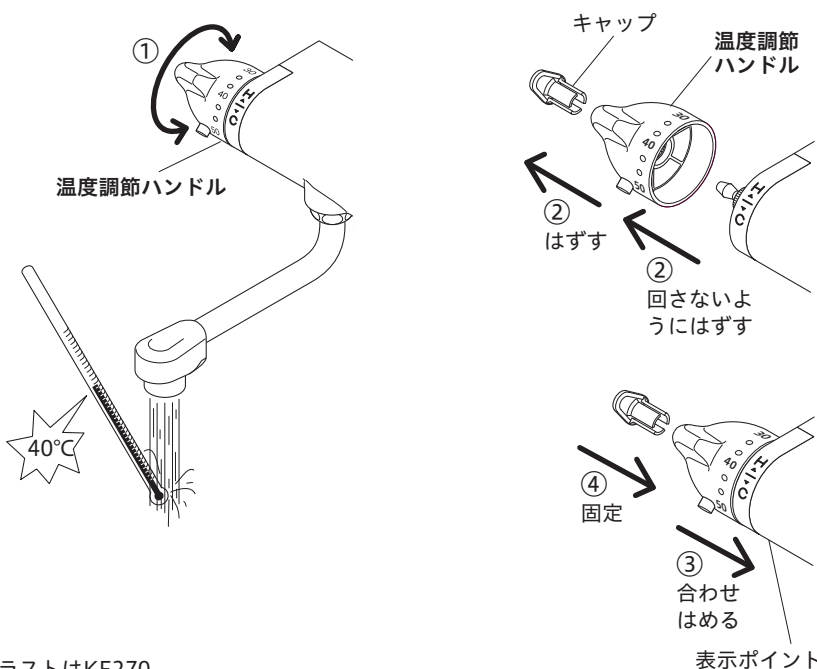
製品には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。また、金たわし・みかき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。メラミンフォームやクレンザーを使用する場合は、文字やマークなど印刷部分はこすらないようにしてください。

温度調節ハンドルの設定方法

温度調節ハンドルの目盛が吐水温度とズれている場合、温度調節ハンドルをはめ直してください。

- ① 全開吐水で目盛に関係なく40°Cのお湯がでる所まで、温度調節ハンドルを回します。
- ② キャップをまっすぐに引き抜いてはずし、温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。
- ③ ハンドルの「40」の目盛を表示ポイントに合わせてはめます。
- ④ キャップにて固定します。

【注意】目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。

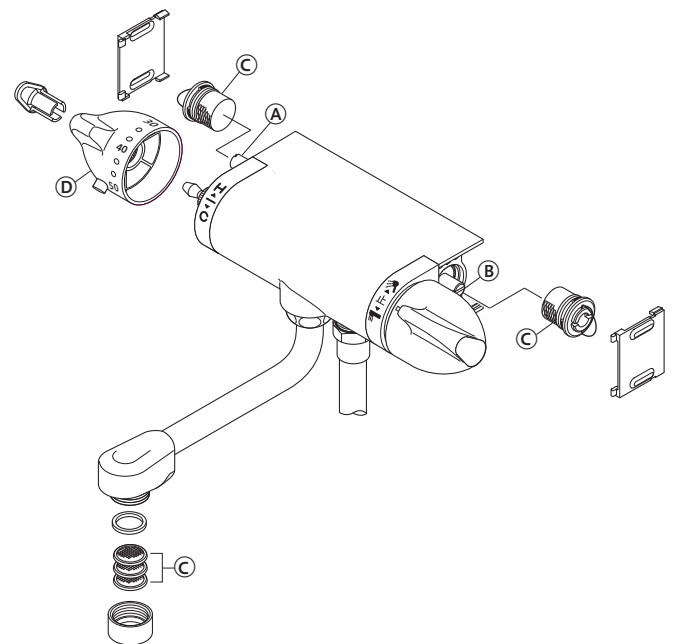


イラストはKF270

故障かなと思ったら...

次のような現象は故障ではありません。表に従ってもう一度お確かめください。

現象	処置	点検箇所
●吐水量が少ない	止水弁を開ける (止水弁の調節方法 参照)	(A)・(B)
	ストレーナを清掃する (ストレーナの清掃方法 参照)	(C)
	水圧を使用条件に合わせる (施工説明書の使用条件 参照)	給湯機
●高温しか出ない ●低温しか出ない ●目盛通りの湯がでない	止水弁を開ける (止水弁の調節方法 参照)	(A)・(B)
	ストレーナを清掃する (ストレーナの清掃方法 参照)	(C)
	必要とする湯の温度より、給湯温度を10°C以上上げる 温度調節ハンドルのズレを直す (温度調節ハンドルの設定方法 参照)	給湯機 (D)
●シャワー吐水が不安定	熱源の温度を下げ (約60°C)、水側止水弁をしぼる (止水弁の調節方法 参照)	給湯機・(B)



イラストはKF270

補修用品の供給期間

この製品の補修用品 (機能維持に不可欠な部品) の供給期間は製造中止後10年です。
なお、補修用品のご購入については取付店・販売店または最寄のKVK営業所にお問い合わせください。

株式会社KVK

インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>